# 京城新報

●新聞料 ▲一部二錢 …
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 一月廿一日
發行兼編輯人 山下英爾
印刷人
京城西署 十門通
發行所 京城新報社 電話六六三番

## 獨立門の記

長風生

西大門より義州街道に出で漢城の近郊を散策するものは、路程無くして屹然聳ゆる巨門を望み得べし、其西に近くして圓形の建物あり、中古式の洋館にして議場若しくは劇場の如き好き建築なり、門を名けて獨立門と稱し、其建物を獨立館と謂ふ、初めて韓國を見舞へる旅客は、斯る形勝の地に於て好個の紀念を見物して或は曾て半島の憂國者が自國の獨立を議し、國權を謀れる處なるべしと想像し、大なる尊敬を表白し、イパミノンダス、ペロピダスの如き愛國の志士が無量の感懐を注ぐ處なりしならんと低回去る能はざることあるべし。只だ觀る仁王山は奇峭嶄立して憤虎の踞するが如く透迤たる古代の長壁は縈ぐり廻ぐりて遠く山を沿ふ、寒鴉枯木に來りて此夕に啼き來往の市人世の騒亂を怖れて馬を急がせり往日舌火萬衆の民を集めて國の存亡を慷慨し、美酒佳肴を並べて内外の志士を招きたる旺大奇抜なる獨立館は北風凛烈として門戸深く鎖ざし寂焉たり、偶ま一團の惡少年等獨立門下に坐して焚火を企てるあり。余以爲らく獨立門とは昔者稱して迎恩門と唱ふ、中華を慕へる韓王親ら此地に臨み支那使節を送迎せし附庸國の紀念なりき、十年前獨立協會なるもの興こり、外人の寄附を得て此門を再興し、稱して獨立門と銘せり、當時協會を援助したる米人アッペンピーラ、アンダウード、及び露國を除いて此獨立門を建立するに補助したる外交團は今や散じて去る、此門獨り其舊名を存じて昔時の光榮を行客に訴ふるも、行人多くは唾吐いて去る、韓國の憂國者は曾て此紀念が迎恩門なるか、獨立門なるかを知る無し憐むべき紀念の殘存に對して夕陽の殘光轉た冷白たるを覺ゆ、卽ち說を作くりて曰く漢城外交團時代に於ては此門は迎恩門となり支那附庸時代に於ては獨立門となり、今日に於ては保護門となりぬ、唯だ希くば之を善く保護して名勝の地となし、牛馬の廐埃中に葬らしめざらんことを。

## 京城より

（大朝特報）

彌蔓せる韓國暴徒の鎭定は今後幾何の月日を要すべきか、冬籠中の此の頃すら衝突爭鬪の報告軍司令部警保局警視廳等に引續き到來し我が損害も少からずと云へば追々春暖の候に向ふと共に又ぞろ大部隊の活動を要するに至るべし且臺灣の土匪と同じく良匪の區別判然せざる上軍隊教育を受けし多數の解散士卒を混せる事とて歩哨斥候等を行使し我が討伐隊の運動に應じて巧に集散するなど軍隊も稍持て餘しの姿あり暴徒鎭壓には警察官は威信の足らぬ嫌ありて今一息の壓力を缺き是迄の成績に因りても憲兵を最も適當とすれど現在の兵力約八百にて各地方に行き渡る餘裕なし寺内陸相が豫算委員會に於ける說明にて今年度に二千人に増加する筈と承知したれば之が事實となりて要所々々に配置せらるに至れば大に効驗あるべく費用を本國の貧乏世帶に仰ぐは遺憾なれど此一事は是非とも斷行して欲し。解散軍隊中の不平黨に在來の無頼漢を加味せし烏合の衆と云へば多寡の知れた鼠賊の様なれど實際は侮り難き一勢力ならずとせず殊に蒼生の休戚を外にして迷信と隱謀に耽り動もすれば先き眞暗の陰策を弄せんとするものを上に戴ける國柄とて李朝の興廢などは必ずしも暴徒の眼中にあるにあらねば英親王殿下の優待も彼等には格別の利目なく宰相大臣を矢鱈に崇めたとて人民に對して何の効果もなかるべし、斯る間に積年韓國民の精神界に一種の勢力を振へる耶蘇教徒の無智の土民を煽動するあり遺憾ながら排日思想の鼓吹効を奏し易く良民忽ち變じて匪徒となる處あり歸順の詔勅發布以來成績稍佳良にて既に八百六十名の投降者あり甲山郡内の首領車東善以下二百三十二名の匪徒も亦不日歸順せんとするなどの情報あれども畢竟冬營中に於ける一時的現象に過ぎず臺灣にても土匪に金錢を與へて歸順を勸誘し一時多數の投降者を得たれど再び匪群に復歸せる實例あり目下歸順者は郡守或は警察署にて監視すれども別に彼等に適當の職業を與へ居るに非ず季節溫暖に向ひ巨魁檄を飛ばさば一令の下に馳せ參ずるもの多かるべきは察するに難からず。唯鎭定の上に於て多少の便宜と認めらるゝは彼等の首領が概して文字を解し中には長老儒者として郷黨の輿望を負へるものもありて其の流布する宣言書檄文の類を見るも體容大に具はり所說肯綮に中りて無下に掠奪をのみ恣にする亂賊を以て目すべからざるものあること是れなり元より時勢を推移する能力を缺き大局を達觀する明に乏しき徒輩には相違なけれど彼等が愛國の精神は却て當路の大官に優るものなきにあらず唯意思の疏通を缺ける爲め偶ま我が統治に反抗すと雖も一朝相會して融和の道を講ずるに於ては案外容易に平和の解決を見んも測られず昔者本能寺の變中國より取て返し秀吉は親から景勝に送れる使者中に紛れ込みて春日山の城内に至り直に景勝を說くに及び忽ち奸膽相照して天下の形勢茲に定まりしことあり、今日の暴徒明日は我が黨の志士ならざるを保せず韓國啓發の大任を帶ぶる諸君のうちには一人や二人彼等の巣窟に踏み込んで彼等の迷謬を說破する位の膽玉を有するものなきか。

## 黑龍江砲艦隊

露國海軍は黑龍江砲艦隊設備の爲二千萬留の支出を得たり右艦隊の警備は黑龍江の上流、中流及び下流に區別し場所に應じて砲艦の型式を異にす上流の十隻はソロモスキーヱ其の他の十工場に於て建造し各艦裝甲を施さず七十粍砲二門を備へ一隻三十萬留を要す中流使用八隻の砲艦は波羅的工場に於て建造し各艦排水量九百噸裝甲の厚さ艦首部と艦尾部に於て二吋中央部甲板に於て三吋を有し一隻百三十五萬留を要す而して其の警備區域はハバロフスクよりブラゴエチエンスクまでとす下流の砲艦はリーグ、コレーグ、ホーブルの三隻にして稍大なるものなれば其の代價は各二百萬留に上る此艦隊は千九百十年の春までに完備する豫定なり然れど此の艦隊に對し同國專門家は第一の型式に屬する砲艦は野戰砲隊よりの攻撃する最弱なる砲火にさへも抵抗する能はざるべく第二の型式に屬する砲艦も砲火に對する抵抗力微弱なり裝甲を施すと雖も其の防護甲板は近距離よりする六吋砲の掃射に堪へざるべく又其の三吋の舷側裝甲は斯の如き場合に全く破壞せらるべく到底艦隊たる任務を果す事能はざるべしとの說ありと烏港新聞は傳ふ

## 韓國 經濟狀態概況

敢へて韓國に於ける經濟狀態の槪況と題すと雖ども只其海外貿易の狀況に就て略說を試みんと欲するのみ、由來韓國の外國貿易上最も須要なる位置を占むるものは我が帝國との貿易なり、されば韓國の海外貿易は卽ち日韓貿易なり、然りと雖ども我が帝國の海外貿易は直ちに日韓貿易とのみ言ふべからざるや又明なり、是れ帝國の海外貿易には他外國貿易の重要なるもの多々あればなり、而して韓國に取りて最も緊要なる日韓貿易の狀況を知らんと欲するは卽ち日韓の經濟的關係を知らんと欲する所以なり、而して其貿易の狀況は果して如何、吾人は現時に於ける日韓貿易に就いて研究するに先ち順序として過去に於ける日韓貿易の狀態は果して如何なりしや、更らに其起源は如何なりしか、將た其沿革は如何なりしやに就いて少しく研究を試み、後徐ろに現在の狀況に及ばんと欲す、而して吾人は日韓貿易の起源及沿革を述ぶるに先ちて日韓貿易の意義を明かにせざるべからず、

抑も日韓貿易の意義には狹義と廣義との二樣の見解あり、而して其の廣義に於ける日韓貿易とは如何、帝國より韓國に貨物を輸送し韓國より貨物を日本へ輸出するを云ふ所謂貨物の輸入を意味するものなり例へば在韓邦人の需要品なる日本酒、反物、帽子等の如きものたると將た韓人向金巾、木綿の如きものたることを問はず、凡て韓國へ輸入するものにして恰も長崎の貨物を札幌に輸送するが如きものをも含めり、更らに其の狹義に於ける日韓貿易とは韓人に需要ある處の日本貨物を韓國へ輸出し、韓國よりは其の生産物を本邦へ輸入するが如きものゝみを云ふものにして、單に國と國との通商貿易を意味するものなり、之を例へば金巾木綿マッチ小間物等の如きものを韓國へ輸入し砂金、米穀、綿、小麥等を本邦へ輸入するが如し、此の兩意義に於ける日韓貿易に就いて考ふるに單に韓國を我が帝國以外の國とする時は、狹義に於ける日韓貿易は帝國に取りて經濟的利益を得る一つの方法なりと雖ども、韓國が既に帝國の保護國即ち廣義に於ける植民地なる以上は、即ち廣義に於ける日韓貿易の進歩は帝國の爲め賀すべきことに屬せり、即ち一面には韓人の需要品を韓國へ輸入して其れによりて經濟的利益を受くると共に、一面には在韓邦人の需用品の增加は要するに本邦人の韓國移住の人口の增加を意味するものにして、又市塲の擴張を意味するものなり勿論廣義に於ける日韓貿易の發達は從ふて狹義に於けるものゝ進歩せるなり、是れ狹義は廣義の中に含まるゝは自から明なる所なればなり、而して吾人が茲に論せんと欲する日韓貿易は其の廣義に於けるものに就いて講究せんとするものとす、

日韓貿易の起源は先づ其兩國地理上の關係に胚胎する者にして兩國地理上の關係の密接なるは恰も脣齒輔車の如く、其位置に於て地勢に於て風土に於て其他風俗習慣人種等に於て然り、而して此等の事に就ひては今又贅せず、次ぎに日韓貿易の起源、兩國の國際的關係にあり、而して其の淵源は遠くして過去二千餘年の以前に在り、此の國際關係の生じたる萌芽より現代に於ける國際關係に就ひては、他日更らに講究する處あるべきを以て茲には之れが詳細は之を省き、只貿易上必要なる沿革の極めて大略に就ひて討究すべし、初め李成桂高麗王に代りて即位二後七年（一千三百九十八年）使を時の將軍足利義持に遣はし久しく猖獗を極めたる倭寇を禁じ、航商を通ぜんことを請ひたり、是れ日韓の間に行はれたる從來の國際的關係より一轉化して、兩國の貿易的關係を形成したる濫觴なりとす、

## 婦人の注意

▲寢所の燈火 は火の用心からいつても、衛生からいつても、消して眠るに越した事はありませんから、この習慣を小兒の時から附けるが一番です。それでも今迄の習慣からして燈火なくては眠られないといふ御人が有りますが、冬の長い夜となりますと自然燈火も長い間燈されますので時とすると其油煙を吸入して眠つて居る事となりますから、成る可く枕元に置かないやうにして、足の方で用心のよい所へ之置なさつて行燈にするか、ランプなら二分位迄にして其ランプ相當に出して充分に心の燃ゐるやうにして置かれたいのです、丸じんや五分じんは引込ませて置くと心がよく燃ゐないで、其油煙が室の空氣に混じますと猶々空氣が惡るく、吸ひ込むで害になります又成るだけ一室には多人數寢ないがよいのですが若し多くの人が一所に寢た時には、空氣の交換に御注意なさつて、しめ切らずに置くか夜中一度開いて交通を計るかせねばなりません、狹くも三疊に一人の割合にしたいものです

▲呼吸器の用心 これより寒い時には呼吸器の病が多くありますが、衣を重ねても寒氣は呼吸からして吸入られますから、完全の防ぎにはなりません、それには寒い風の日、風に向はない用心と決して口を開かないで鼻で呼吸するのがよいのです、往來で同行の人と話し合つて歩行すると、何うしても寒氣をすひ込みますから、冬は無言であるくやうにしたいものです

## 窯業品需給に對する調査（六）

コップ其他の食器は冬季に於ては賣行なしと雖も夏期に於ては相應に賣行あり是亦韓人には殆んど賣行なく十中八九は日本人の需用にして邦人の發展と共に年々賣行を增加し行くこと事實なり左に數年間の輸入統計を揭ぐべし此統計は税關に於て作成したるものにして實際は此數字より多きものと見るべしと云ふ

| | 波璃器 | 洋燈筒 | 洋燈 |
|---|---|---|---|
| 日本 | 一三八、二七九 | 四、九一〇 | 四、五九八 |
| 清國 | 二、〇六二 | 一八五 | 四五〇 |
| 英國 | 四五六 | 三七 | 二二〇 |
| 米國 | ― | 七 | 三三 |
| 獨乙 | ― | ― | 三三 |
| 諸威 | ― | ― | ― |
| 計 | 一四〇、七九七 | 五、一三九 | 五、三三三 |

日本人の取扱ふ玻璃器は概ね日本より輸入するものにして若大阪製のものに係り未だ他の製品は當港に輸入なきが如しこれ大阪問屋商人は十數年來韓國に輸入を營み韓人の嗜好及程度を熟知せるが故に其製品も亦韓國向にして成るべく安價を主とせるより何邊便利にて恰好なるに因ると云ふ清國商人の取扱に係るものは同じく洋燈類食器を主とすれども之は上物にして香港の英商より仕込み來るものにして支那人又は西洋人の需用を主とするが如し

## 小說 紋のみだれ（七十八）

永井櫻園

山田、松岡の兩人が語りつゝ酌み居る所へ注文の肴が料理店から來たので、お松が運んで

「大層遲くなりました、只今漸く持つて參りましたけれど、何にも珍らしい肴が無いさうでございます、召上られますか何うですか、どうぞ召上つて見て下さいまし、そしてお銚子も熱いのを持つて參りましてございます。」

「イヤ、大變御馳走だね、モウ御酒は澤山だから、僕は燗けないで下さい、どうだ隨分赤くなつただらう。」と、摩りながら微紅を帶びた顏を、見よがしにランプに照す。お松は眞面目に眺めて

「那樣ちやございません、ポーと櫻色になつて、眞箇宜いお顏色ですわ。どうぞ何にもございませんけれど、御寛り召上つて下さいまし。」と、愛嬌らしく言つて、次の室へ去る。

「君に見せながら、僕ばかり斯麼御馳走を食べて氣の毒だね、何か滋養になるやうな物を少し食べて見ないか。」

「イヤ、食べられてもモウ少し我慢爲なきやアならないのに、眞箇まだ何にも食べる勇氣が出ない、僕に遠慮はないから、管はず食べて下れ給へ。」

「然うか、それぢやア氣の毒だが、御馳走にならう。」と、先づ鍋のふくら煮に箸を着ける。

「今も言ふ通り、僕のやうな未熟な事で一家を經營して行くと云ふ事は、なか〳〵容易ならない事だから、全快したらウンと奮發する意で居るから、どうか適當な仕事があつたら知らせて下れ給へ、そして君に借た金子は、氣の毒だけれど、今暫く持つて下れ給へ。」

松岡は、餘程酩酊したらしく、陶然として

「僕の力に及ぶだけの力は盡すから、安心爲給へ、そして僕の金子なんか、何時だつて宜いから、心配爲ないが可いよ。うい…ヤ、どうも大變酩酊した。モウ大分遲いだらうから、今晩は失敬する。いづれ兩三日中に、改めて御禮に來る。妻君にもどうか宜しく云つて下れ給へ。」と、言ふより早く立上つたが、ヨロ〳〵する足を踏しめて、山田が留むるをきかず、其まゝ立歸つて了つた。

山田は、お松に杯盤を取片附させ、話し疲れと、葡萄酒の醉とで、其まゝ枕に就いて了つた。お松は後片附を早々濟して、戸締など何くれと注意した後、これも朝からの疲が出たので、十時の時計が鳴り渡ると、床に就いたが、間もなく夢路に入つたのである。

夜は刻々に更けて、俥の音も漸次に少なくなり、往來の人の足音も、時偶聞ゆる十二時近き頃、表戸をほと〳〵と叩く人がある、が、内には返辭の聲も無い。近所隣家の安眠を破りてはと氣遣ふ如く、四邊に心を配りながら、間して、又ほと〳〵と戸を叩くかくする事三四回の後、漸く内から聲をかけた。

「誰方です。」

「お松さん、私だよ、お氣の毒だが些と開けて下さいね。」

云ふは、確に清之助の聲である。

## 大藏省專賣局出身者の第一回懇親會

曾て大藏省專賣局に奉職せられたる者にて當京城に在住せらるゝ者官民其圓る多數の由なるが舊交を温むるの目的を以て今廿一日午後五時當地花月樓に其の第一回懇親會を開催するとの事なり

京城動報

## 捕題

▲新協約に憤死せんと企てたる愛國者曰く韓國には曾て獨立無かりき今にして始まること無しと余曰く左様でしたか朝鮮歷史には其事一言も無くして明かなり何ぞ發言を要せんや、彼は大官たる金に對して斯くばかりの御世辭を自白したるなり。

▲流言は殖民地の變化を意味す。

▲韓人曰く日米戰爭起るべしと、然らば米國の共和政治の下に走りて日本の敗を待つの意なるか、韓人曰く只だ風說を聞くのみなりと、彼は風說を聞きたりとてサノ〳〵日本人の處に告げ來れる程の外交家なり、政事好き也。

▲木內次官は城壁破壞委員長に任せらる任大臣は宜しく其總裁たるの命下りて可なり

▲妻君味噌汁を好む甚し、良人に迫まりて日夜味噌汁の御馳走に飽かしむ、如何にシルクハットを好むとは云へ、天下に命じて洋服勵行とは困つた變法好きの人間ならずや、斷髮論、洋服論皆此位の頭から來れるものなり。

## 失題

▲金線の黑帽、金柄の佩劍、肥馬を黨する四輪車、嚴たる衛兵、糞街尿路の黃塵を蹴り、意氣揚々鞭を打て走る、何ぞ夫れ雄なる哉。

▲入りては堂々たる高館に安臥し、韓官と嬖僚に跪拜せられ、出でゝは紅樓妓を擁し美酒佳肴前に堆く、而して世界の形勢を論じて保護國の政策に及ぶ、何ぞ夫れ豪なる哉。

▲被保護國を見ること君主の如く、其民國を過ずる兒女に溺愛する痴母の如く、二あるべからざる法令を二三にして之を曲愛し、而も猶及ばざるが如く、憂心忡々たる、何ぞ夫れ慈なる哉。

▲白人を怕るゝ鬼の如く、其要求に應ぜざる無く、其希望に違ふなく、戰々兢々として唯其至らざるを憂ふ、何ぞ夫れ怯なる哉。

▲祖國の民を蛇蝎視して、之を威嚇し、之を壓迫し、正當の利權も之を無視し、而も之を驅て保護國の利益を增進するの機關たらしめむとす、何ぞ勇なる哉。

▲上は頻々美姬を交替するを誇る長官を頂き、下は之に習ふて狂態を極むる屬僚を滿たし、怨恨に泣く美女と扶養すべからざる私生兒との製造に忙なる、何ぞ夫れ痴なる哉。

▲痴漢の婦女に對する夫の如く、新しきを好で舊功を捨て、新附の民を愛するの故にして、後援者たるべき祖國民を無視せんとす、何ぞ夫れ愚なる哉。

▲數十億の財を縻し、數十萬の生靈を失ひ國民の力に據りて漸く得たる保護權は、何等の行賞にも與らざる國民をして之が果實を收めしむべきの當然なるに、然も之を沮止して其既得の利權をも失はしめんとす、何ぞ夫れ暴なる哉

紐育電報

## ▲米國大使日米關係論

倫敦駐剳の米國大使は倫敦に於ける宴會の席上に於て演說して曰く米國と日本とは親密なる友人なり此の兩國間の戰爭は不可能なり今日戰爭を云々するは狂氣の沙汰なり(二十一日發東京經由)

桑港電報

## ▲日人歡迎決議

シャトル商業會議所は同地に於て開催せられたる東洋人排斥同盟會の決議は輿論及び利益を代表するものに非ずとし日本人を歡迎するの決議をなせり(廿日東京經由)

東京電報

## ▲貴族院と增稅案

貴族院の增稅案委員會は大体に就きて增稅の可否を裁決せしに反對四に對し贊成十の多數にて可決せり尚本會議に於ても通過する事疑なし(二十日午後發)

## ▲總選擧期日

衆議院議員の總選擧は地方官會議等に日子を要するに付六月十日頃なる可し

## ▲明石艦變事

有明海外にて明石艦引船作業中ボイラートヘッド破損し伊集院少佐以下六名負傷せしが內卒一名死亡せり

## ▲增稅案通過

各增稅案は明日の貴族院の議事日程に上る筈なるが三分の二以上の大多數にて通過すべし

## ▲間嶋問題打合

齋藤大佐は伊藤統監邸に於て間島境界問題に關する有力なる參考書及び今後の間島經營に關し打合中なりと云ふ(以上二十一日發)

各地電報

## ▲暴徒巡查隊を包圍す

暴徒の首魁捕縛のため密行せし韓人巡查部長以下四名の一隊は甕津部上柳面「カッザン」にて二百餘の暴徒に發見され其の包圍に陷りたりとの報あり當地より今朝巡查六名守備兵十名應援に向ふ(二十一日海州發)

雜報

●現內閣の苦心經營 誰れが流言せしかは知らねども韓國現內閣の壽命も長くはあるまじと其れがあらぬか現內閣は一致共力長壽同盟成立してよりは暴徒の鎭壓は閣せぬ爲とし專ら亡命者歸りの一團を以て目先の難物と爲し亡命者たりし趙命諸氏に對して家屋の下賜となり官有物の拂下となり官吏登用となりて其甘心を買ふことに汲々たることは最早世上の笑柄となりぬ亡命運に對しては以上の如く次に怖るべき故大院君の遺存したる勢力に對しては深く戒心し李殷鎔氏に對して百方推戴の光景を示すなど現內閣の長壽策は是にて結果を奏したるなるべく只だ偏へに氣の毒なるは暴徒の始末のつかぬ事なり

## 御用博士ラッド氏 (米國公衆の非難を受く)

曾て伊藤統監より金錢的報酬を受けて韓國の視察を爲し到る所に於て統監政治の賞賛に勉めたることある米國エール大學教授ラッド博士は今回其本國に於て韓國視察錄なる一書を公刊したり、米國の公衆は右視察錄中に於て博士が在韓米英佛の宣教師及び韓人基督教會に甚だしき惡評を加へたるは全く伊藤統監の意を受けて爲したるものゝ如く考へ博士に對し非難の聲を擧げつゝありと云ふ

## 韓國の通信事業

明年度の韓國電話電信費目は二百廿五萬圓同收入見積額は百六十萬圓にして差引六十五萬圓は本邦政府より支出の筈なるが收支相償ふまでには尚ほ八ヶ年を要すべし

## 產業獎勵費と汽船會社

本年度農商工部豫算中に產業獎勵費の目ありて金額五萬圓を計上す此の費目は度支部が既報韓商汽船會社設立の補助を見越して計上したるものゝ由なるが農商工部は此の費目を以て韓國人の產業の獎勵即ち養蠶種紙の改良稻種の改良䲔籠の改善魚撈具農具の改善等を補助獎勵するに支出す可きものなりと解釋し今回の汽船會社補助に關し兩部間に多少の押問答ありし模樣なるが其の費目の性質は兎に角該會社の設立に關しては初め度支部が熱心に發起人等を勸誘したる關係あり遂に度支部の意見通り右の費目中より三萬圓を支出する事に決したるなりと云ふ

## 屠牛稅規則の改正

韓國には庖肆稅規則なるものありと雖も庖肆稅の管轄が經理院に屬せし頃は此の規則實施されず全國各地の屠牛場は或は經理院が派員なる者を定めて徵稅の請負をなさしめ或は觀察使郡守が一種の運動によりて許可を與へたるあり或は警察署が其の認許をなしたるあり殆ど統一を缺ぎ居りしが昨年屠牛營業に關しては農商工部其の徵稅は度支部之を主管する事となりしも從來の弊害は一時に改む可くもあらず到る處紛議を生じ到底現今の制度にては其の成蹟を全ふする事能はざるを以て當局者は近々屠牛規則を改正する方針にて目下調查中の由なるが改正の上は營業の許可は農商工部が直接に之を取扱ひ從來經理院は一個年宛許可し居りしを永久の營業權を與へ其の營業には設備上の條件を附し嚴重なる監督を加ふる事とし徵稅は度支部に於て主管するは依然たる可し因みに地方韓人中には屠牛場を農商工部が日本人の會社或は一個人に獨占せしむ可しとの說を流布する者ある由なるもこは無根の訛傳なりと云ふ

●牛荷馬車取締規則施行 警視廳にては一昨年警視廳令を以て發布したる牛車及び荷馬車取締規則中第四條を除くの外仁川府及び同府外直經十里以內に施行する旨發布したり尚現在牛車及び荷馬車にして牛車及び荷馬車取締規則第二條の制限に適合せざるものは隆熙二年七月三十一日まで使用するを得べしと云ふ

●仁川水道敷設續行 仁川の水道敷設は昨年中鷲梁津より松林里間七里二十町を六區に分ちたる二區の鐵管敷設に取り掛りたるが十一月下旬より土地凍結したるを以て其工事を中止したるが同局にては來月より該工事を續行すべく目下其の準備中なりと云ふ

## 仁川民團の豫算

仁川本年度歲出入豫算は經常臨時の兩支出を合して約三十五萬圓なるが其內重なるものは病院經常費約五萬圓、同臨時三萬圓及び土地交換に要する五萬四千圓等にして民團普通經常費は教育衛生土木經備の諸費を合して九萬三千圓に過ぎざるが豫算額の斯く巨額に達せるは舊民團債たる四萬圓を一時償還し新たに起債するを以てなりと云ふ

## 釜山民團區域の變更

釜山居留民團區域は來る四月一日より左の如く變更施行することゝなりたり

岩南牛島の西方無名の溪流により天馬山九德山、新岩山の分水線に依り新溪川の右岸第二支流江に達し之より峯五山を經て黑崎に達する分水線を以て其境界とす

但し各抱島、絕影島は本地區に屬す

●經濟協會の例會 同協會の例會は一昨夜日本人俱樂部に於て開催せり會合者の重なるものは香坂法務院長巨智部博士三浦理事官秋吉穎原會頭及各紳士三十名餘なり當夜講話者井上雅二氏は殖民地の土地所有と題して殖民地に於ける土地所有の種類を擧げ印度、ジャヷ、トランスバール、コンゴ國等に於ける詳細にして嶄新なる事例を示し韓國の現今に就て必要なる對照を示して終り更らに別室に退席して後山川技師より窯業に就ての一班の講話と該業に關する韓國の原料質物を示して有益なる講話を終へたるは午後十時なりき

## 京仁石炭界の近況

從來品質の如何を問はず單に塊の大なるを貴びし京仁石炭の需要界は近時漸く値段の如何に拘らず良品を使用するの反つて得策なるを了解し來りてか以前の如き唐津三等炭若くは日の浦炭などの需要者は漸次減少せり然れば此の好惡推移を察したる一二斯業者は唐津塊炭七武田吉野岸嶽大黑其他好良なる品の輸入を試みたるに豫想の外品質好良なるに忽ちに賣切れ只比較的品質面白からざる七武田のみ殘庫せりと云ふ而して一般に切込は目下の處賣行極めて捗々しからず是れ其需要者が單に小蒸氣等に限らるゝを以てなるが何れ暖候ともならば京仁間の各煉瓦工場に於ける需要も起り多少の荷捌けはある筈なり

## 仁川正米界 漸く順調に歸す

過般仁川正米界に雄飛せし東洋貿易會社は豫定の買込を了り去る十九日神戶に引揚げ且つ上旬以來仁川は勿論木浦群山方面に迄手を擴げて買込みたる神戶梶米商店も昨今の處稍々手控の模樣となれり因に兩者今回の買込高は東洋約三千梶米約一萬なりしと云ふ

## 仁川瓦需給の狀況

▲瓦 瓦は日本家屋には是非必要のものなれども從來屋根にトタンを用ひて瓦に代ゆること多きを以て瓦は殆んど高等の家屋建築に用ひらるゝの傾向あり加ふるに韓人家屋は多く藁葺なるを以て其需用は日本人に止まれり然れども邦人の發展に連れ本品の需要は年一年增加し來り輸入も亦相當の額に上るのみならず地場に於て製造する瓦も又尠からず龍山永登浦仁川に於ける製造所は四五ヶ所ありて皆相當に捌け口ありと云ふ本年に入りては未だ需用を見ずと雖も昨年中に於ける主要なる需要は京城に於ける統監府所屬の官舍龍山に於ける鐵道管理局官舍を始めとして仁川大火後の再築工事等にして需要相應に之れあり受負工事に係る大口の需用は受負人に於て直接日本內地より輸入することありと雖ども輸入の便宜を有せざるもの又は當地製の瓦を使用することを許さゞるとき若くは部分的に成功を急ぐ場合等の如きは小口に當地商人又は製造人より買入るゝとあり當港に輸入さるゝ瓦は肥前瓦岩見瓦伊豫瓦等にして肥前瓦は當港本町衆組の一手販賣にして昨年は仁川にて約十二三萬枚京城約二十五萬枚計り賣行けりと云ふ値段は一枚三錢三厘にして大形燒にして六十六枚を以て一坪とせり當港製造の瓦は小形にして一枚二錢五六厘の賣直也

## 光州日本人會の紛訌

光州日本人會は客年十一月以來會長評議員間に潛越の行動ありとて紛紜を重ね居りしが同年十二月佐久間時三郎氏外數人發起人となり會則改正役員改選の議を唱へ同月二十日夜元光州理事支廳內に臨時總會を開催して會則を改正し次で本年一月七日評議員を改選し翌八日佐久間氏會長の任に就くと共に會則改正の承認を木浦理事官に請求せり然るに右の會則は理事官の承認する處とならざるより新舊兩會長派は互に反目の觀を呈し內訌殆んど停止する處なきに至りたるを以て同地警察署長は法務補佐官と協議し新舊兩會長評議員に懇諭し尚光州農工銀行支配人陶谷太吉氏より新會則の承認を理事官に交涉することゝなり又會の事務は新會長及評議員と商議の上執行する事に協議纏り數月に亘る紛議漸く圓滿に解決を見んとするに至れりと云ふ

## 暴徒討伐情報 (軍司令部着)

▲暴徒の自白 十日以來捕縛したる賊徒訊問の結果脅城郡各地の同士十數名の居所名自白に付脅城停止斥候と協力し逮捕の爲め兵卒三名を派遣したりしに十七日午後四時新元寺附近に於て賊七十に遇戰し其二十二を殪し銃を鹵獲す

▲通譯面長の慘殺 十八日夜南川驛一里半に暴徒約二百名來襲面長通譯を殺害し尙停車場來襲の恐れありとの急報に接し十九日午前黃州分隊より一分隊叉開城よりも守備隊出兵の筈なりとの電報到達したり

▲賊の根據地を襲ふ 下䂓(鐵原の西北約四里半)附近は賊の根據地なるの情報を得たるを以て十二日午後二時半阿部中尉以下若干出發其夜十時玉洞に於て確實なる諜報を得たるを以て急行下䂓に向て拂曉下䂓の根據地を襲ひしに賊は北方鞍部に於て抵抗の後南方に潰亂せるを以て追擊す賊の首魁趙良西の率ゆる約五十にして死体八を遺棄し鹵獲品は銃十二彈藥雜品若干

▲堤川の交戰 堤川守備隊長高橋大尉以下若干名は十六日午後五時東北約三里立石里に於て首魁以下廿七名の暴徒と交戰し一時間の後之を擊退す賊の死は三其一を捕獲せり

## 郭山に暴徒起る

昨二十一日午後十一時平安南道定州派遣所より憲兵本部着の電報に依れば定州西北三里郭山に暴徒起り通牒を得しより實地取調の爲め四名を派遣せり

## 原州地方民と自衛團

原州、橫城、寧越、平昌、旌善の各郡の人民は自衛團を組織せば一進會に加入する事及び斷髮を强要せられ剰へ軍隊警察官と同樣の行動をなさゞる可らずと稱し其組織をなさゞるを以て其誤謬を氷解せしむるため原州分署長は同郡守と協議し郡內各面長を召集して自衛團の趣旨を說明したる結果十日間を期して組織する事となり其の他の各郡に對しても漸次說明をなし誤解を釋かしむる見込なりと云ふ

## 光州郡の自衛團

近來暴徒の橫行出沒する者日に增加して光州郡內も亦其災害を蒙るに至りたるを以て人民一般に自衛の必要を喚起したる模樣なるにより同地觀察使は郡守と協議し郡內の各面長を召集して諭示したる結果邑內外三面に自衛團の組織を完ふし十個所の夜警所を設け一個所壯丁十名宛交代にて之に從事する事とせり團の維持費は金額を定め面內の貧富に應じて之を負擔支出する事とし觀察使は金廿圓郡守は金十五圓を寄附し其の範を示せしにより異議なく可決し唯だ郡內の一進會員にして之が組織に干與せんとせし者ありしも一般人民の嫌惡する同會員を加入せしむるときは却つて組織に障害を來すの恐ありしを以て之を拒絕したりと云ふ

●鈴江局視察 統監府屬鈴江振次郎氏は今明日馬山監獄署視察として出張すると云ふ

●一進會員の惡徒 全羅北道金溝郡水流面院坪店一進會員劉進源は同會員十一名を集め群港一進會討伐隊と稱し各所を徘徊するを以て取調るに其部下たる吳相玉允德の二名は扶安部上東面居申賓善の家宅に闖入し釜四個及布若干を掠奪せる事實發見せるを以て目下取調中なり

## 仁川驛收入高

仁川驛運輸收入概算調 四十一年二月中旬分

| | |
|---|---|
| 一乘車人員 | 一千一百五十八人 |
| 一降車人員 | 一千三百二十七人 |
| 一手小荷物發送斤量 | 一萬〇五百卅三斤 |
| 一乘客賃金 | 一千七百〇〇圓六十一錢 |
| 一入場料金 | 五圓七十八錢 |
| 一手荷物賃金 | 六十一圓十四錢 |
| 一小荷物賃金 | 九十九圓九十錢 |
| 一貨物賃金 | 五千四百卅二圓六十一錢 |
| 一着拂貨物賃金 | 二百八十三圓二十五錢 |
| 一貨物發着手數料 | 一千三百六十六圓十八錢 |
| 貨物發噸數 | 四千三百五十五噸 |
| 同着噸數 | 五百九十八噸 |

## 近事片々

▲巴爾幹半島雲行急也露土の爭は早晚免る可らず今回は些と趣を異にす注目に價す

▲獨墺 伊英露聯合して土國に當らむとする形勢と獨帝と陳郎とに翻弄せられずば幸也

▲露國 の外交や巧に過ぎて却て誤るイズヲルスキーは到底ピエローの敵に非ざる也

▲英 迄尻馬に乘しは面黑し此外交舞臺の見ものも也我霞ヶ關邊は何事か策せる

▲東歐 の巴幹は斯く目醒しき活動あり極東巴幹は外交舞臺は擧るも實蹟擧らず慨歎

▲間島 問題始めの勢ひに似ず而も清國は根強く今や防備を盛にす彼我の勢轉倒せり噫

▲龍頭 蛇尾は我が外交の特色なるか何事でも列强の問題に上れば忽ち畏縮す嗚痛歎

▲中井 錦城間島問題に大抱負ありと聞く今や吏となりて北韓に行く其抱負を現せ嗚

▲西園 寺首相病み林外相亦病む林董氏何か事ある每に病む偶然と云乍ら妙痴奇林也

▲林外 相彈該案議會に顯はると云董君姦處等が辭き處ならむ無能外交國民皆倦めり

▲鶴原 君辭任せずとの報傳る而も伊公の助なる勸告にて豈夫是京童の惡口ならむ

▲伊公 の勸告云々は未だ公と鶴原との關係を知ざるものゝ言耳兎角韓土は巷說多し

▲暴徒 鎭壓に壯丁募集の妙案南山邊に起ると亦しても自衛團の如き二の舞をするか

▲地方 に於て暴徒と同樣に嫌はるゝは自衛團也虎の威を藉り良民を苦しむとは眞乎

▲面長 も團費として一戶廿五錢徵すと云今や暴徒になるか耶蘇教になるかの二道耳と

▲一進 會誅求自衛團徵求暴徒徵發寧ろ自ら暴徒たらむ將た耶教たらむと無理ならず

▲在留 同胞亦金海郡に殺さる統治機關有て此始末統治機關は韓國の爲也と云か亦愉

# 秋月菊の傳 其十四

粲生

廿七年頃の元山港は日本人の數もいと少かりしかば日本人相手の營業にては埒明かずと見て取りし市作は今では日常普通の談話には差支へなき程に韓語に通じたるを幸ひトある家を借り受けて韓人欺しの玉ころがし、八角時計や眼ざまし時計の五つ六つに反物、煙草、餅、菓子、密柑の類を列べ立て、二錢五分の白銅一個で甘く行けば八圓も出さねば買へぬ八角時計や反物が取れる物は試しだ一遍行つて御覽じろと怒鳴り立てしに何が僭慾に目のなき韓人連の先づ一人が恐々ながら手を出したるを市作は此所ぞと其者に當りもせぬ反物一反擲ませたるに我れも〱と店頭は忽ち人の山を築き思ふに增したる繁昌に此の分ならば近き中に相當の資本も得らるゝことなるべしと思ふにつけて又忽ち心の張に弛みを生じ朝つぱらからの小鍋立て、かゝる中に在りて一人哀れなるは彼のお菊にして使ひ歩きは云ふも更なり食事の跡仕舞やら拭掃除やら水こそ汲まね煮焚きの世話まで六歲の小腕に强ひらるゝ憂さ辛さ、泣けば必ず叱らるゝに泣かじとすれど時折は餘りのことに思はず知らずホロホロと小さき膝を涙に濡らし見付けられじと飮むだ茶の雫に紛らすこともあり、されば〔ソボ〕降る雨の夜、風吹き荒ぶ夜な〱は枕を抱きて氣も遠く心も遙か對馬なる生の父母同胞の夢にも入れよ此の思ひ、初め釜山で別るゝときに母さんは直きに迎へに來るべしと云はしやつたが豈夫離れて居たからとて忘れしやつたおやあるまいに何うしたことゝか小さき胸には包むに餘る憂き思ひに寢衣の襟を濡はすことも度々なりけるが時恰かも日淸の風雲愈々急に千鈞の危機一髮に繫れる時にして人心恟々たる中にありて市作のみは唯一人一擧して巨萬の金を儲け得んこと此の時を置きて他に索むべからず夫れにしては此の元山は北陬なり、釜山若しくは仁川に出で、一旗上ぐるに如くものなしされど釜山の知る人等には合すべき顏なければ先づ仁川に出づべしとおみさとも相談して其用意に取り掛り居たるに疾くも兩國の國交斷絕して北洋艦隊は黃海に遊弋出沒して我商船を脅かすこと頻りなりければ航海の途絕へつ彼れが商算も此所に一頓挫を來し是非なく尙暫くは元山の地に居らざるべからざる運命に陷りにしが翌くる年二十八年五月いかなる薄手にやよりたりけむ或る任務を有する運送船に便乘を得て仁川港に上陸するを得ぬ

## 龍山疑獄事件公判

昨日理事廳民刑所に於て彼の龍山疑獄事件大村百藏外三名の第二回公判を開廷來る廿八日言渡ある筈

## ●閔元植捕縛物語

韓太子日本留學に當り嚴妃の密使と噂立てられ漢城の操觚者をして少からず煩悶せしめたる嚴俊源の女婿閔元植が警視廳の手に拘引せられたることは讀者の既に知らるゝ如し之れが拘引せらるゝに就ては世間種々の說あり或は一大疑獄を惹起すべしと云ふものもあれば嚴妃の密使と云ふものもあり其眞相の那邊にあるやは一も明かならず而して其密使だと云ふ噂さを立てられたる原因は彼が韓太子が御出發に當り宮中より一萬五千圓の大金を持出して京城を出發したから此れは多分日本に於ける太子に對する動靜を探る爲め派せられたる密使だと云ふものもあつた然るに宮內大臣李允用は彼が一萬五千圓を引出したのはコソ必ず何か野心の爲めにする所だと丸山警視總監に訴へ出たのであるから總監も多分何事かの騷動を起さしむる爲め宮中より出された密使に相違あるまいと直ちに部下に命して彼が行先を密偵せしめたれど其行衞は一向に分らぬ其影さへも捉ふることが出來なかつた判明らぬも道理で日本に渡りたと思ひ入つた彼は忠淸道定山に妻が置いてあるにも拘らず嚴俊源の女を娶つて妻にした嚴の女も亦た彼に妻のあることを知つて嫁いたのだ併し此二人の間には何かの消息があつたらしい更に角嚴の女を妻とせし以上は先妻は如何にか始末を着けねばならぬ……日本ですれば重婚で罪を喰はねばならぬけれど……故に此問題を如何にして結末を着けんかは彼が先決問題であつたらしい幸に此時宮中より一萬五千圓の大金が手に入ることゝなつたので之を持て直ちに定山に往て先妻の離緣をしたのである斯く漸くにして片が着いたのでヤレ嬉しやと今度は船にて歸ることゝし海上恙なく川に着き上陸して船中の疲れを安むる間もなく鵜の目鷹の目で見張り居つた警視廳の刑事は御用の聲と共に彼を縛り上げたのである此時の彼は夢に夢見し樣であつたらう刑事は直ちに汽車に乘せ警視廳に護送して其手柄を誇つたのだそうして警視廳にては彼を調べて見ると事實は右の次第であつたので丸山總監も之には多少面喰つた樣子であつたが兎角これまで乘つた船今更濟ぎ戾す譯にも行かず一萬五千圓の大金を持ち出したのを口實として暴徒と關係し居るだろうと今て牢屋に打込んであるが此れには李宮內大臣の親戚である侍從院副卿李會九なるものさの間に於ける喧嘩の結果が此次第に至つたのだと韓人間に專らの取沙汰である

## ●特別傳道會

廿日より開會せし傳道會は滿堂の盛況にして日本語に熟達せるドレーパー博士の說教は全會衆に大なる感動を與へたり今夕の題は左の如し

忠實　ドレーパー博士
神心　木原牧師

## ●叔母を脅迫す

南部水下洞の柳呂史と云へるは以前某兩班の妾たりしを以て今日にても衣食に事缺かず後家にて氣樂に暮らし居るものなるが家督を讓るべき子なきを以て曾つて姉の子たる西署倉洞七松亭の金國鎭(二十)なる者を貰ひ受けこれに妻をも迎へたりしに此の國鎭は牛得酒を好み醉へば亂暴をなすより屢々說諭を加ふれども更らに改心の情も見えざるより過ぎし頃金四百圓を渡し爾來親子たるの緣を絕ち柳家に來つて無心を言はず亂暴もせずとの契書を認めさせ放逐したるに二三日前國鎭は柳家に來り更らに四百圓を呉れよ倘しこれを渡さぬとならば阿片を飮んで茲に死せんと脅迫し近隣の者も來つてこれを說諭すれども聽き入れずとて呂史は大に閉口し居れりといふ

## ●夫婦者の雲隱れ

當地中部典獄後洞十六統九戶の酒商韓相五(二)及び其妻某(十九)が客年十月十九日逃走し爾來蹤跡杳として聞ゆることなかりしが去る十九日會洞七統十戶李起元の邸に隱匿し居ること露顯し親族の者至りて是れを連れ歸らんとせしに日本人田村某が夙く既に他に誘引し去りたりとのことなるが此の夫婦者に就てはいと面白き消息あり何れ詳報する所あるべし

## ●柴賣を毆る

去る二十日午後七時頃南署椒洞四十五統四戶居住黃順一が例の朝鮮酒に醉ひ潰れて漂然途上をうろつき居る內柴駄賣に突き當り其の柴駄賣を引つ捕ゑ打擲する所を巡檢が認めてこれを制せんとせしに順一は却つて巡檢に向ひ亂暴を始め其の外套を引き破りなどせしが醉狂のこと故銅峴分署に於て說諭の上放免せり

## ●七人組の强盜

去る二十日午後二時頃當地典洞五十聯隊の隣なる韓人宅に七人組の强盜押し入り各自棍棒を携へ居りて家人を脅迫し女簪、指環及び衣類十點を强奪し逃走せりと

## ●荷車を盜む

去る二十日午後八時頃南署双林洞の邊允興と其の同居人安永澤の兩名相謀り中署官洞にありし荷車二臺を竊取し持ち歸り居る所を發見せられて兩名とも警察署へ拘引せられたり

## ●橋より墮ちて死す

去る十九日午後三時頃中署長橋より墮落して卽死せし者あり其の死体を檢するに年齡六十許りの韓人にして眼病に罹り且醉酊し居しものゝ如しと

## 狂犬病豫防法

●●●狂犬病に對しては當局者は之が豫防上每年野犬の撲殺を行ひつゝあるも本月中旬以來狂犬病發生被害者數名に及びたれば當局者は此際畜犬の健康診斷と野犬の撲殺を併行し警戒を加へつゝあり元來狂犬病なるものは犬屬固有の傳染病なるも其の狂犬の咬傷に由て人、家畜、野獸等にも病毒を傳染する最も恐るべき危險なる惡疫なりとす依て病犬にかまれたる者は速に醫師の施療を受くべきは勿論犬屬の飼主は公衆衞生上より常に畜犬に注意し若し疑はしき症候を認めたるときは躊躇せず速に警察署又は民團役所へ申出同所獸醫の診察を受くるは勿論平病の犬と雖も可成此際は獸醫の診察を受くるを安全とす亦飼主にあらざるも犬の異狀を認めたる者は速に警察署又は民團役所へ通知する等警戒を加へざるべからず依て民團當局者の語りたる同病の原因症候及び人に傳染し發する恐水病の症狀等要領を左に摘記し以て一般豫防上の注意に資せんとす

●●●狂犬病　傳染病毒は狂犬の腦、脊髓及唾液中に存す其の潜伏期は一定せざるも平均三週間乃至六週間にして長きは數月に亘り短きは數日に過ぎず

●●●病狀　に躁狂、瘖狂の二種あり躁狂は主として腦を侵すとき及病毒を直接に腦に接種するときに發し瘖狂は專ら脊髓を侵すとき又は病毒を皮下に接種するときに發するものなり而して躁狂の瘖狂に變し瘖狂亦た躁狂に轉することあり又二者の中間に位する病狀あり本病は定型的急性病にして必ず死に歸するものとす

●●●躁性狂犬病は前驅期、刺戟期、痲痺期の三期とす

●●●前驅期　所謂發病の初期にして半日乃至二日間持續す此間病犬の擧動一變し獰惡執拗となり不安にして憤怒煩惱し易く動もすれば床下に潜匿し頻りに居所を變じ時に卒然跳起すも常には從順温和なる者あり又咬傷部に異常の癢を覺へ自ら之を嚙み或は之を舐む味覺も亦一變し常食を嫌ひ好で寒冷の物を舐め藁、草、土、石、木片、硝子の碎片、襤褸の如き種々の異物を嚥下し甚しきは自己の糞尿を啖ふ或は絕へず自巳若くは他犬の生殖器を嗅ぎ若くは之を舐む此期に於て已に輕微の咽頭痙攣嘔意及び便秘を見る(未完)

廣告

毎月廿八日一割引
名物 二八饅頭
一名一口饅頭
一錢に四つ
御菓子製造大勉强
京城本町六丁目 二八堂

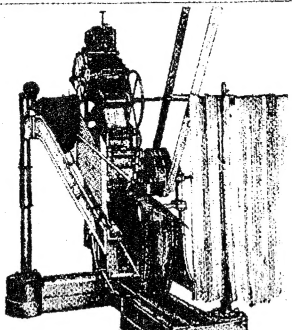
內外婦人科
南山町二丁目 植村病院 (電話三三〇)
每日午後より種痘施行

▲▲各科治療
入院隨意
軍人、新聞配達職工、學生、諸君は藥價半減可仕候
無代施療券配布方民役所へ托し置き候間該券持參の御方に限り無代治療に可應候
京城長谷川町一丁目 蘇生病院

實用新案 空氣呼鈴
此の呼鈴は彼電氣呼鈴の如く藥品を要せざれば破損の患ひ無く道線は鉛管を用ふるものなれば地中水中に論なく布設し得且距離は本能く百二十間の遠きに達すれば官衙銀行會社旅館料理店或は陸續宅離亭等の間に使用して誠に經濟至便の文明的要品なり乞ふ御購求あらんことを

諸官衙御用達
諸機械 軍刀及附屬品 諸金物 雜貨類
ターニー商店
石川義夫
京城明治町一丁目

諸官衙向文房具卸商
京城本町郵便局前
シノサキ商店 (電話六四八番)



眞崎製造 うどん そうめん そば
日本九州佐賀
製麵機械並に諸機械製造販賣
眞崎鐵工場

營業課目
一諸機械製造並に修繕
一諸官會社拂下物品買受
一其他不用品買入
一古銅鐵賣買
佐竹商店金物部
京城永樂町二丁目赤門前

會席御料理
新築落成
龍山元町壹丁目
八景園
電話四六番

諸願屆、登記書類の代書、土地家屋賣買、金錢貸借の周旋、漢城證明手續、土地家屋及未開墾地測量
旭町一丁目民役所橫
岡田幾三郞
取次電話二六八番

代書幷ニ測量製圖
漢城府土地證明手續代辦
日笠義則
京城本町壹丁目理事廳前

訴訟、鑑定、契約起案、諸願屆、登記書類代書、土地家屋賣買、金錢貸借、電話賣買等の周旋
京城本町一丁目警察署前
法學士 小川勝平事務所
電話四十一番

大阪人士に告ぐ
今般有志諸彥の贊成を得て京城大阪人會を設立致候に付大阪人士は勿論大阪に緣故を有せらるる人は奮て御入會あらん事を希望致候
規約書は左記の役員方に備へ置き有之候間御入用の方は御取寄の上御一覽被下度候尙勸誘員を差出し居るも多數の事に候へば勸誘洩も可有之に付既知の諸彥より御知らせの上御入會あらんことを
申込所
京城南大門通二丁目 三好和商店
京城本町四丁目 木島平商店
評議員
幹事 池田長兵衞　同 石井新三郞　同 三好和三郞
同 北川吉三郞　幹事兼會計 木島平兵衞
渡邊中齊　三田政次郞　辻本嘉三郞
松浦源治　南方寅次郞　野々村藤助
小北米藏　中村政次郞　中村芳松
西尾芳松　山野丑松　兒玉善次郞
保高德松　中西千吉　鈴木義三郞

岩本英夫
法律事務所
京城本町一丁目 電話六二四番
仁川新町一丁目九七番地 電話五二七番

新聞賣捌
京城日報 一ヶ月四十錢
大阪朝日新聞 一ヶ月四十五錢
東京朝日新聞 一ヶ月三十五錢
萬朝報 一ヶ月三十三錢
時事新報 一ヶ月五十錢
大阪時事新報 一ヶ月三十五錢
右各新聞迅速確實に配達仕候尙今回申込所を設置仕候間御便宜御申込被下度候
京城大漢門前 盛文堂 電話四二六
申込所
大和町二丁目 田中商店
本町三丁目 江見商店
南大門外 日良商店

## 公告

宮内府所管不動産に付利用方希望者は其目的物並に利用方法を表示し實測圖を添付して帝室財産整理局長宛申請す可し

隆熙二年二月十八日 宮内府

一鐵道貨物取扱
一稅關保稅貨物取扱

迅速に確實叮嚀を主とし御取扱可申候間多少に不拘御用命奉願候

仁川停車場上 小宮山運送店（通關）

京城南大門外御成町五十番戸（千葉館前） 同 支店 取次き（電話一二九番）

銘茶販賣 專業

京城本町五丁目 富士の里茶舗

和洋御料理 並に かきかまめし

外に洋食、すし 一皿ニ付金十五錢

京城本町五丁目釘本商店前入 あづまや

日本漬 澤庵大賣出し

味噌醬油製造 乾物荒物鑵詰 銘茶食料雜貨

漬物問屋 京城本町五丁目 大上商店（電話二五一番）

原金旅館

本店 仁川理事廳通（電話三二番）
支店 京城南山町（電話一〇七番）

▲貨物本船積卸
▲龍山行其他近海運送
右に關する一般の事務

仁川港仲町一丁目 （福） 福島組（電話五三五番）
同 波戸場出張所（電話五四二番）

興信事務及未墾地鑛山測量並設計土地家屋等諸種之紹介鑑定及調査廣告之取次（業務、迅速、取扱）

京城興信所支局 京城旭町一丁目民團役所向角

新建築材料品種々

ラバロイド
金屬打出モナーク瓦
アスハルト並ニ工事
リサイト
一名防火ペンキ
アスファルト
フェルト
原木穴木材防腐劑
米國製壁紙◎石綿瓦
建築用紙◎エナメル

本店 東京京橋區五郎兵衛町（特電本局九□三）
支店 大阪西區靭中通一丁目（特電西八九四）
同 横須賀市大瀧町（電話一一一）
同 大連市伊勢町十一號地
同 韓國京城大和町一丁目
出張所 米國紐育市フロントン街九六

合資會社 允原商會

營業科目

土地家屋鑛山山林賣買ノ仲介
土地家屋鑛山山林測量製圖應依賴
灌漑排水事業設計應依賴
土地整理竝丈量應依賴
鑛山未墾地出願代辨
土地家屋證明願賣買手續代辨
外國旅券出願代辨
新聞廣告取次
電話賣買取次
韓國に關する著書雜誌閲覽
韓國に關する非賣出版書閲覽
韓國に關する本社調査書類閲覽
商品依託特約代理店ノ仲介

▲弊社は誠實秘密且敏速に業務を營む
●宅地及韓人家屋の賣物あり
●商店向其他の貸家あり
●鑛山の賣物あり
●耕地未耕地の賣物あり
▲弊社は各方面に涉り各事項を調査す

本社 京城永樂町一丁目八番戸假事務所

京城仲介社

支社
東京 東京麹町區富士見町 伊藤豐次郎
大阪 尼ヶ崎字宮町一丁目 由比昌太郎
仁川 仁川新町一丁目 遠藤喜平
釜山 釜山入江町一丁目 加納佐一
木浦 木浦山手通三丁目 谷垣嘉市
鎭南浦 鎭南浦西二丁目 古田稻市
開城 開城西部 今福又三郎
水原 水原南門內 川口直三郎
元山 元山居留地 菅鶴平
鏡城 鏡城北門內 菅支店
平壤 平壤大和町 佐久間賢之郎
大邱 大邱東門外 稻本新臣
龍山 龍山元町 吉岡一作

一各種石炭大販賣

大の浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭
三池粉炭

ストーブ用として右三種取寄せ貯炭能在ら御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候

鍛冶用として貯炭能在り多少に係はらず御用に應し可申候

當社一手販賣炭左之通り
三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物產合名會社
京城出張所（電話二十六番）
仁川出張所（電話六十三番）

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣

株式會社 第五十八銀行京城支店（電話五八番）

爲替取組先
畿內 二十七ヶ所
東海道 十三ヶ所
山陽道 七十五ヶ所
南海道 二十三ヶ所
北海道 五ヶ所
臺灣 二ヶ所
東山道 二十八ヶ所
北陸道 十ヶ所
山陰道 十三ヶ所
西海道 三十ヶ所
韓國 九ヶ所
清國 一ヶ所

極材木、竹類、灰

座敷廻り諸材料特に注意取揃あり

右本年は多額輸入可仕特別廉價販賣仕候間多少に不拘御用命願上候

（下） 小森材木部 京城旭町一丁目 電話七四四番 本宅四〇五番

本店 東京市日本橋區兜町

內地支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町

韓國支店及出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、木浦、群山、平壤、大邱、開城、城津、成興、馬山、鏡城

清國出張所 安東縣

株式會社 第一銀行京城支店

電話番號 營業部 一一番 當直用 同 三三二番 國庫部 六一一番 用度係 六二一番 分拆所 六二二番

總支配人 市原盛宏
副支配人國庫部長 三島太郎
副支配人調査部長 竹山純平
營業部長 木村雄次

藥

處方調劑 賣藥品 衛生材料

龍山櫻町 藥劑師 川瀨一五郎 商號 開壽堂藥房

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓

株式會社 十八銀行京城支店 京城南大門通（電話四二〇）

本店 長崎市築町
支店出張所 韓國 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、全州、群山
日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

內外書籍新聞雜誌
和洋雜貨日用品
文房具學校用品

大阪朝日新聞 一ヶ月四十五錢
同 每日新聞 一ヶ月四十五錢

京城本町二丁目 （太） 平田商店（電話百十五番）

產婆案內（いろは順） 名簿

京城明治町二丁目 內務省免許 伊集院兼子（電話架設中）

京城旭町三丁目 內務省免許 伊藤智滿子

京城明治町一丁目 內務省免許 妊婦產婦マッサージを要す 岩永滋野

京城壽町三丁目二十六番地 內務省免許 濱崎辰子

京城本町五丁目（釘本商店横入） 內務省免許 堀越直子

京城本町貳丁目 三井物產會社構內三好方 若原順子

明治二十五年開業 內務省免許 田淵左姬 京城本町六丁目

京城本町四丁目三十番地 內務省免許 京都帝國大學病院產科婦人科勤務を辭し肩書の處へ開業致し候 土山峰子

京城旭町通一丁目五十五番戸（民役所の西側） 內務省免許 山鳥ウタ

京城壽町一丁目（坂井病院內） 內務省免許 築山久野（電話二二六番）

京城南大門外 雜貨商池田商店前入 內務省免許 松尾のぶ子

京城日出町小學校前 文具商酒井秀榮堂內 內務省免許 淺野くわ子

官許 胞衣取扱所 京城明治町三丁目一番地 內務省免許 三池鶴代

明治二十四年開業 杉原花子 京城南山町三丁目（日本人俱樂部上）

會席御料理 並に仕出し 西小門內 横濱亭

諸官衙御用 印刻師 京城明治町一丁目 齊藤亭太郎

會席御料理 並に 仕出し

京城大和町三丁目 梅乃家 電話七三五番

入院隨意 京城醫院 京城壽町一丁目 電話七四二番

梅毒癩病 內科 外科 入院隨意 京城南大門外 戶田病院

日本郵船株式會社 瀛船仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番
京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行 相模丸 二月 日 後三時出帆
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 第一オハヨ號 二月廿三日 後三時出帆
伊勢丸 二月 日 後三時出帆
高松丸 二月廿三日 後三時出帆
●大連行 伏木丸 船客不載 二月 日 後一時出帆
酒田丸 三月五日 後一時出帆
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 三月五日 前九時出帆
●釜山出帆、元山行 弘前丸 二月 日

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事